

原水爆禁止世界大会ニューヨーク 代表団派遣の中止決定

原水爆禁止世界大会ニューヨークを主催する国際企画委員会は、新型コロナウイルス感染の世界的なひろがりの事態に対応するため、4月24日・25日に予定されていた「世界大会ニューヨーク」及び26日の屋外での集会と行進をすべて中止することを決定しました。

NPT（核不拡散条約）再検討会議については、まだ決定ではありませんが、1年延期の方向で調整が進んでいるようです。

このNPT再検討会議に合わせた国際行動の成功へ向け、建交労全国青年部として2名の代表派遣を行う予定でした。今回の代表団派遣中止は非常に残念ですが、被爆75年を迎える今年、「核兵器のない世界」への実現に向け、日本から盛り上げていきましょう！！

お知らせ

みなさま、NPT再検討会議行動への代表派遣に向け、オリジナルTシャツのお買い上げやカンパなどにご協力いただき、本当にありがとうございます。

集まったお金は、次回の行動への資金とさせていただきます。

NPT再検討会議やそれに合わせた行動について、決定や発表がありましたら、全国青年部からまた代表派遣ができるよう作戦を練りたいと思います。

続報をお待ちください！

Thank You!



この間、原水爆禁止世界大会ニューヨークに参加するにあたり、署名活動などに積極的に参加をすることができました。地元の間も応援してくれて、今まで以上に様々な取り組みを行うことができたのではないかと考えています。

新型コロナウイルスの影響で自粛モードの中、気分も落ち込みがちになってしまっていますが、この間の気持ちを大切に、署名などの取り組みを継続して頑張りたいと思います。

(全国青年部事務局長・武田喜成)



↑ 今回のNPT行動へ派遣される予定だった武田事務局長(左)と鈴木事務局長(右)

以下、日本原水協から送付がありました、国際企画委員会の発表全文です。

(2020年3月12日発表)

世界大会の中止と私たちの運動の構築

友人のみなさん、

人々の健康への懸念と、急速に蔓延するコロナウィルスの危険から人々を守るために、私たち世界大会-NY 企画委員会は、4月24-26日に予定していた世界大会、集会と行進を中止することを決めました。

しかし、私たちはこれまでに作り上げたすべてを土台に運動を発展させるつもりです。これには同時通訳を使った国際オンライン会議の計画も含まれています。今後の発表にご期待ください。

私たちが築いてきた国際的な連合体は素晴らしいものであり、変化する状況のなかでも存続します。すでに1500人の人々から世界大会と関連行事への参加登録申し込みがあり、私たちは将来に向けて運動を構築するための力強い土台を築き上げることができました。

この時期、われわれは、世界大会が目標に掲げた核兵器廃絶、気候破壊の阻止、社会的経済的正義のために、世界中の多くの場所でさまざまな形態の行動がすでに計画されていることを知っています。皆さんが私たちの組織化の努力に寄せてくださった支援に感謝します。今後ともこの共同が続くことに期待し、皆さんの地域社会と各国での行動の成功を心から願うものです。私たちはまた、新たな形態での組織化と社会的動員が必要なことも認識しています。私たちは全力をつくしてこれらの新しい戦略を発展させ、ほかのイニシアチブからも学ぶつもりです。

また、3月12日木曜日夜に予定されていたニューヨーク地域の組織会議についても、オンライン電話会議に変更することを報告します。連絡はニューヨーク州ピースアクションから届きます。

最後に、国連で4月中旬までに予定されていた各種会議が中止あるいは市民社会の参加のない象徴的な行事に規模縮小され、グテーレス事務総長が職員の出入りを除き国連ビルを閉鎖すると発表したことで、NPT再検討会議が意味のある形で開催される可能性は低くなっています。しかし、もし何らかの象徴的な行事が開かれることになれば、私たちは、核兵器廃絶を要求する世界の声をはっきりと示すための方法を考え出すつもりです。

企画委員会を代表して

ジョゼフ・ガーソン